

今回初めて第3回AAAL ESSEN2009 視察の旅に参加させて頂き、大変貴重な体験をさせて頂き感謝しております。

今回、エッセンモーターショーやボローニャモーターショーを初めて見学してみて、どちらも若い人が多く会場に来ており、車好きの若い層が欧州の車社会を支えているのかなと感じられました。また、エコカーがいがいに少なく東京モーターショーとのギャップを強く感じました。エッセンはチューニングショーとの事でしたが、世界不況の影響で参加メーカーが少なかったのが残念でした。

又、BMWやフェラーリ、ランボルギーニの各ミュージアムは素で楽しめる場所で、特にBMWにおいては、各ホールの車の見せ方全てがデザインされており、何時間いても飽きない位すてきな空間でした。

リャブリャーナのアクラポヴィッチ社マフラー工場の見学をさせて頂き、設計室から検査工程、生産現場まで丁寧に説明して頂き大変勉強になりました。高い技術力と職人技的な加工工程は、日本の高い技術力のある工場でもあるとは思いますが、全てのラインがデザインされており、働く人の感性を高めて、会社全体のポリシーを強く感じました。今後の仕事において、あらゆる面で見習っていこうと感じました。

今回、個人ではなかなか行けない場所に行くことができ、次回もあれば是非参加したいと思います。

株式会社セイワ 企画開発課 田辺 貴幸